

幼稚園だより ちよだ



10月号

令和8年9月30日
千代田区立千代田幼稚園
園長 木村 恭子

わくわく チャレンジ やってみよう！

園長 木村 恭子

秋の訪れを感じる季節となりました。園では、いよいよ親子運動日を迎えます。

今年のテーマは「わくわく チャレンジ やってみよう!」。各学年、友達と一緒に体を動かしたり、考えたり、試したりしながら、自分なりの「やってみよう」に向かって取り組んできました。

「わくわく」の感じ方は一人一人違います。どのプログラムにも意欲的に楽しむ子もいれば、まずはじっくり見てから少しずつ動く子、ダンスの衣装がやる気のエンジンになる子……様々です。大切にしたいのは、当日に向かう中で自分にとっての「ここが楽しみ!」「これは自信がある」を見つけて力を発揮し、満足感を味わえること、と考えます。



司会の言葉は時間を
見つけて繰り返し挑戦!

特に5歳児すみれ組は、競技・演技だけでなく、係活動や司会、応援など、多様な場面でスポットが当たります。当日は、友達と気持ちと力を合わせながら自分の役割を果たす姿に、さすが年長組!の頼もしさを感じていただけることと思います。

どの学年についても、運動日当日を立派に終えることがゴールではありません。経験した学びが生きる生活を工夫し、さらに次への「わくわく チャレンジ やってみよう!」につなげます。



さて、3歳児ばら組、4歳児さくら組では、親子運動日の取組に**絵本**が活躍しています。さくら組は、日本昔話に登場する浦島太郎や桃太郎に変身します。学級で物語に親しみ、昔話のヒーローたちの活躍に思いを馳せながら、ダンスで見せる「決めのポーズ」も ばっちりです。

ばら組は、かわいらしくカラフルなアイスクリームになって登場します。おいしそうなアイスクリームが出てくる絵本を何冊も楽しみ、甘くて冷たい世界をクラスみんなで創り出します。どちらも、会場が笑顔いっぱいになること間違いありません。



先日、小・中学校の研究論文に触れる機会をいただいたのですが、その中に、読んだ物語について児童が意見を交換し合い、豊かな言語活動につなげていくといった内容のものがありませんでした。同じ物語を読んでも、心に響く場面や感じ方は違うことに子どもたちが気付く、互いに受け止め合うことで学びが深まる様子が読み取れ、幼児にも通じるものを感じました。学級で一緒に見た絵本の中で、アイスクリームのどんなどころに魅力を感じているのか、ヒーローのどんな姿に心を動かされたのか。一人一人の心の動きを大切にすることで「わくわく」はより高まり、表現や遊びも豊かになっていきます。

10月には、遠足や芋掘り、「実りのお茶会」など、普段の園生活では味わえない、自然や季節との出会いも待っています。子どもたちのみずみずしい感性を大切にしながら、たくさんの「わくわくチャレンジ やってみよう!」を広げていきます。



千代田幼稚園のホームページもご覧ください